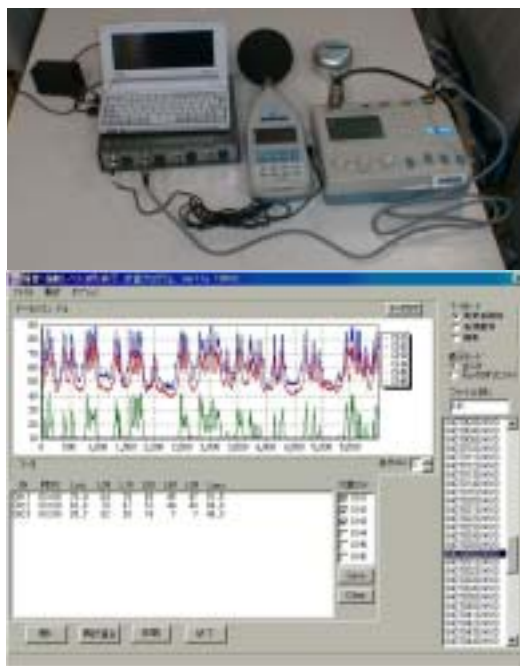


LP-2000 WAVE-2000

騒音振動レベル処理器・波形表示計算ソフト



概要

・LP2000・WAVE2000は、騒音・振動を同時に最大4CH測定することが可能です。現地で騒音計・振動計のDC出力端子から本体にケーブルで接続するだけで、時間率レベル(L5, L10, L50, L90, L95)、等価レベル(Leq)、最大値(LMax)の算出・記録及び、波形の保存が出来ます。もちろん、各算出データ及び波形は、現地で測定しながら確認できますので、従来のようにレベルログ等は必要ありません。

特徴 および 機能

最大4CHの同時測定

多チャンネルを同時に測定するとき、DATなどに録音して、後で再生、分析などという手間のかかる作業を一切必要としません。現地で測定しながら統計値を算出できます。緊急車両等の除外音も現地調査時にボタンひとつでカットできます。また、音源識別もキー操作一つで可能です。もちろん持ち帰ったデータをWAVE2000で、除外音、音源識別の再設定が可能です。

簡単な操作

本システムは、基本的にボタンひとつで操作できます。また、設定状況も見やすくまとめておりますので、測定の設定時の間違い等が大変起りにくくなっています。

PDAへの対応

本システムは、PDA用のOSであるWindowsCEに対応しております。WindowsCE対応版は、電池のみで長時間の測定を可能とし、機材搬入等が困難な場所等で威力を発揮します。

マシンに依存しない計算方法

本システム推奨動作環境は、Pentium75MHz、メモリ32MBと、高スペックな高価なパーソナルコンピュータを必要としません。騒音振動測定現場で過酷な使用条件のもと高価なパーソナルコンピュータは使用したくないものです。しかし、本システムは安価な中古パーソナルコンピュータでも使用できるというメリットがあります。

波形の印刷

本システムでは、サンプルしたデータの波形を印刷できます。レベルログなしに波形を打ち出しでき、報告書作成時に大変有効です。

豊富な算出データ

WAVE2000を使用することにより、持ち帰ったデータの音源識別、除外音削除が出来ます。また、音源を識別することにより、音源の時間寄与率、レベル寄与率がマウスの操作のみで可能です。この機能は環境騒音測定時に威力を発揮します。

省電力設定

WindowsCE版は自動車用バッテリーのみで約1週間の連続測定が行えます。また、電池による駆動も可能なため、測定機材の搬入が困難な場所で威力を発揮します。

仕様

入力信号	RION製騒音計・振動計のDC出力
入力チャンネル数	4CH
出力端子	RS232C D-SUB9pin 9600baud
サンプル間隔	100msec、200msec
測定時間	5、10、15、30、60分
測定間隔	5、10、15、30、60分 (10分間隔で、連続測定も可)
演算値	Leq、L5、L10、L50、L90、L95、Lmax

対応機種

WINDOWS9x、Me、2000、Xp、Vista搭載のパーソナルコンピュータ
(シリアルインターフェースかUSB端子を持つもの)
WindowsCE ハンドヘルドコンピュータ
(NEC MobileGear MC/R330 NTTDoCoMo シグマリオン、)
RION NA-20 (騒音計)
RION NA-60 (精密騒音計)
RION NL-04、06、20、21、22 (騒音計)
RION NL-14、31 (精密騒音計)
RION NA-17 (低周波騒音計)
RION VM-51 (振動計)
RION VM-14B、52、52A、53、53A (振動計)
別売り専用ケーブルが必要です(3500円)

価格

定価	¥630,000	(WINDOWS CE版 PDA込み)
定価	¥525,000	(パーソナルコンピュータ版 パソコン別)